

2025年1月26日、令和6年度兵庫県理学療法士会神戸西支部の新人発表会で田中PT、谷口PT、平田PTが症例発表を行いました。

発表した3名は、神戸リハビリテーション衛生専門学校研究教育センターの教員や院内の指導者とともに試行錯誤しながら抄録やスライドを作成し、何度も発表の練習を行いました。そのかいあって、昼食が喉を通らないほど緊張していたようでしたが、発表や質問への回答をしっかりと行っていました。田中PTは「新人発表を通して、患者様に対し深く考えることで理学療法の楽しさを知ることができました。この経験を臨床に活かして頑張っていきます。」、谷口PTは「今回の発表を通して、1人の患者様に理学療法を行う際に疾患や生活背景などを理解し、問題点を明確にして理学療法を提供することの大切さを学びました。今回の経験を活かし、患者様により良い理学療法を提供出来るように精進して参ります。」、平田PT「新人発表を通して、その人に合った理学療法を行うことの難しさと楽しさを改めて実感することができました。この経験で得た知識や技術を今後の臨床に活かして行きたいと思います。」と、それぞれが成長を実感していました。

今後もリハビリテーション科では、後身の育成に励み、患者様に提供するリハビリテーションの質を向上するよう取り組んでまいります。

(文責 藤原 聰)

【新人発表会の発表と打ち上げ風景】

